

2013年10月26日 9-17時

第16回 SED 指導者養成コース

第34回 SED 実践セミナーセデーショントレーニングコース

@大阪医科大学 MSSC 報告書

①開催形態

開催施設責任者：林 道廣（大阪医科大学附属病院医療技能シミュレーション室）

開催協力部門：医療安全管理室、医療プロフェッショナル支援室

開催講座責任者：南敏明（大阪医科大学麻酔科学教室）

②インストラクター

コースコーディネーター

藤原俊介 大阪医科大学麻酔科学教室 医療プロフェッショナル支援室

インストラクター

駒澤伸泰 大阪医科大学麻酔科学教室 MSSC

羽場政法 日赤和歌山医療センター麻酔科

アシスタント

大地史広 大阪医科大学病院集中治療室

③参加者

指導者養成コース 4名

田中源重 大阪医科大学麻酔科学教室

趙崇至 松下記念病院麻酔科

岡田大輔 みどり病院麻酔科

河島明 那賀病院 内科

SED 実践セミナー22名

学内 13名

初期臨床研修医5名（1年次4名、2年次1名）

手術室看護師8名

学外参加 9名

医師 3名

看護師 6名

④コース内容と学習目標

	学習目標
講義	米国麻酔科学会「非麻酔科医のための鎮静鎮痛ガイドライン」の解説を重視 受講前にテキストを送付し、事前学習の推奨
カードを用いた シミュレーション	鎮静薬と鎮痛薬の分類、相互作用の把握
マネキンを用いた 緊急時気道管理ハンズオン	呼吸状態の評価を意識づけ(呼吸パターン、回数、SpO2 等)、酸素投与方法、基本的気道管理(バッグバルブマスク、ラリンジアルマスクを始めとした声門上器具)の習得
シナリオディスカッション	術前リスク把握、準備、必要なモニタリング、投与時の評価等、緊急時対応を質問し、知識の再確認や整理
シミュレーション環境を用いた シナリオトレーニング	臨床での実践対応に関してシミュレーターを用いて習得

⑤開催風景
南教授挨拶



講義

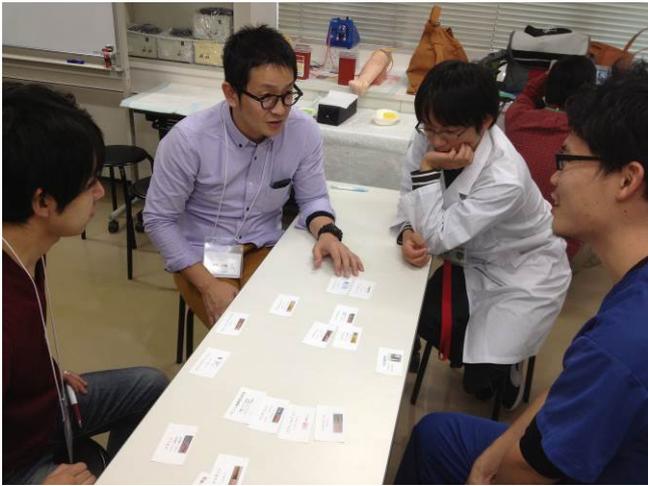


気道管理ハンズオン

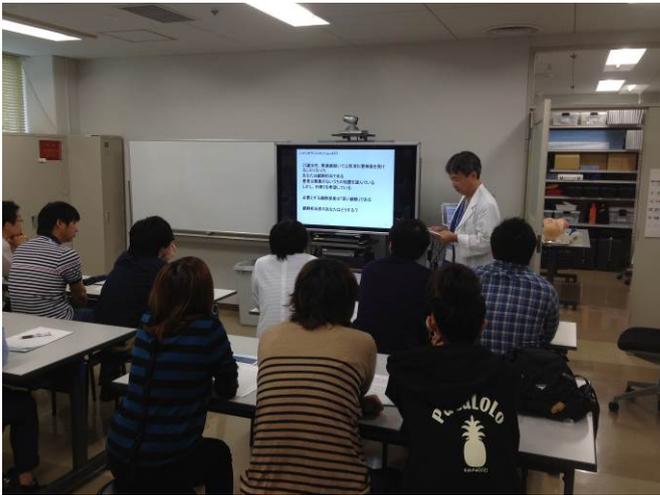


カードシミュレーション





シナリオトレーニング



全体集合写真



⑤今後の取り組み

次回の公募を合わせた MSSC での開催は 12 月 14 日を予定している。インストラクターは藤原プロフェッショナル副室長、駒澤 MSSC 副室長に加え学外からも 1 名応援を得たいと考えている。エコーガイド下中心静脈穿刺と連続受講可能とする。